



根堀台だより

平成30年2月21日

第 98号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

由利高原鉄道から 合格祈願切符！



「合格祈願切符」一式

2月20日(火)の3校時、由利高原鉄道さんから今年も3年生全員に「合格祈願切符」を頂きました。この「合格祈願切符」は平成25年から始まり、今年で5回目を迎え、由利高原鉄道沿線の由利中・矢島中・鳥海中の3校の3年生を対象に行われています。

当日は由利高原鉄道を代表して総務課長の〇〇さんとアテンダントの〇〇さんの2名がご来校されました。合格祈願切符には「矢島駅→志望校行き」「受験生に限り有効」「下車前途無効」と書かれています。3年生にはまっすぐ順調に志望校に到着してほしいものです。



〇〇さんと〇〇さん

セレモニーではアテンダントの〇〇さんから3年生一人一人に手渡しされましたが、「合格祈願切符」を手にして子どもたちは入試直前の緊張感が少し和らいだように見えました。

生徒を代表して〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんが「応援してくれる方々への感謝の気持ちを忘れないで、全員合格を目指します。」とお礼の言葉を述べました。

3年生は先日商工会婦人部から頂いたお守りとこの「合格祈願切符」で2つお守りを頂いたこととなります。こうやって沢山の地域の方々が、由利中生の進路の実現を願ってくれていることがいかに幸せなことであるか、3年生には是非理解してほしいものです。

何故なら、子どもたちは「地域の宝」であり、「地域の希望」そのものだから、地域をあげて応援して頂けることの意義をしっかりと感じ取って下さい。

また、この日は「秋田魁新報」と「読売新聞」の2社が取材に訪れています。魁新聞では21日朝刊で紹介していました。お見逃しのないようにして下さい。

3年生は最後の一踏ん張り、しっかり頑張りましょう。



〇〇さんと〇〇さん

バトンをつなぐ生徒総会



生徒会引継ぎ式 ～伝統を次に伝える～

2月20日(火)の6校時、第3回生徒総会を行いました。3年生にとっては中学校生活最後の生徒総会であり、生徒会の新旧交代の会でもありました。

生徒総会終了後の引継ぎ式で、〇〇会長から〇〇会長に校旗が渡されました。3年生執行部の「やりきった表情」に対して、2年生執行部の「緊張した表情」を見

ていると、これから新しい一歩が始まるんだという気持ちがありました。1・2年生はこのバトンの重さをしっかりと受け止めて、新しい由利中を築いてほしいものです。

3年生の皆さん、これまで生徒会を引っ張ってくれて本当にありがとうございました。

現3年生による最後の生徒総会、資料作成、総会の準備と進行、大変ご苦労様でした。最後まで立派に責任を果たすことができました。生徒会引き継ぎ式も終わり、いよいよ2年生による新体制のスタートとなります。先日の「体験入学」でも大変よく頑張っていました。でも、由利中は執行部が頑張ったから良い学校になるわけではありません。1・2年生そして4月に仲間となる新1年生全員が「チーム生徒会」として頑張つてよい由利中を作つて下さい。

さて、春の選抜高校野球大会に「21世紀枠」で由利工業高校が出場するというビッグニュースを皆さん知っていますでしょうか。先日、生徒会長だった渡部力くんも挨拶に来てくれました。今日は皆さんにある新聞記事を紹介します。『21世紀枠候補9校のうち東日本5校を選考し、由利工に決まった。主将、副将が生徒会長となり、あいさつの励行などを率先するなど、全校生徒の2割近くを占める野球部員が学校改革に取り組んだ。また、工業高校ならではの資格を生かしたボランティア活動にも力を入れていることが評価された。特別選考委員会からは「定員割れや統廃合が心配される中、野球部員が中心となって学校を元気にしている」という意見が出された。』とあります。つまり、由利工業は勿論秋季東北大会で8強入りした実力が評価されたのですが、それに加え、挨拶など「地域に愛される学校作り」が高く評価されたから甲子園という夢の扉を開くことができたのです。

先日行った「生徒アンケート」では全校生徒の100%が「挨拶をがんばっている」と答えてくれました。私がこの学校に来て5年目となりますが、これまで「あいさつ」「無言清掃」を由利中生の型とすべく生徒会と一緒に頑張ってきました。でも、私はこれまでの先輩達の頑張り比べると今の状態はまだ何か足りない・・・そう感じるのです。

例えば「あいさつ」です。以前、「あいさつ」は「心を開いて相手に近づく言葉」であり、思いを込めた「あいさつ」には、大きな力があると話したことがあります。皆さんは、各クラスの「あいさつ王」を選びますが、この由利中で毎朝一番「おはようございます」という挨拶をしている人は誰でしょう。それは私です。毎朝100回以上挨拶をしている私は「元祖挨拶王」だと自分では思っています。

私の「おはようございます」というあいさつにも思いが込められています。それは「今日も学校に来てくれて本当にありがとう。」という「感謝」の思いです。また、元気がない人や悩みを抱えている人には「今は負けずに、頑張れ。必ず乗り越えられるよ。」という「励まし」を込めています。残念ながらその日学校に来れなかった人には「みんなあなたのことを待ってるよ。頑張れ。待ってるよ。」という「願い」を込めて鳥海山に向かってあいさつしています。

皆さんが学校生活で取り組む活動には、必ず「願い」や「思い」が込められています。活動には心がなければなりません。心のない活動は心には響いてこないのです。心があるものだけが伝統として受け継がれていくのです。

皆さんのあいさつや無言清掃に心はこもっていますか？今、全校で心をひとつにして諸活動に取り組んでいますか？由利中の生徒会活動のひとつひとつに先輩達の「願い」や「思い」がこめられています。私はそれを大切にしたいと願っています。私は残念ながら、2年生の新執行部を中心に頑張る皆さんの姿を見ることができません。だからこそ、今「あいさつ」と「無言清掃」にこだわりたいのです。みんなには本気で取り組んで欲しいのです。

間もなく3月、旅立ちの日がやってきます。

96人全員で校歌を歌う機会もあとわずかです。今日も校歌を歌いましたが、果たして心のこもった、本気の校歌だったでしょうか？全校生徒が「心ひとつに」、「挨拶」や「無言清掃」をしっかり頑張ると共に、心のこもった本気の「歌」で3年生の先輩を旅立たせてあげましょう。
(生徒総会でのお話)